

よ い つつ  
「良いものは良いのだ」と言い続けよう

かいりじ きのわき えつろう  
ちいしば会理事 木ノ脇 悅郎

一〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便承認 每月二・三・四・五・六・七・八の日 発行

あたら とし ねん あ みな き も あたら とし はじ むか  
新しい年、2018年が明けました。皆さんはどのような気持ちで新しい年の初めを迎えたでしょうか。きっと  
希望を持って新年をお迎えになったことと思います。僕はたくさんのおもほく おも きぼう ふあん おも  
希望もありますが、不安に思っていることもあります。今日はその「不安」について考えたいと思います。去年も世界ではいろいろなことがありましたし、  
日本も世界で起こることと無関係でいることはできません。そのような中で、世の中を代表する漢字が選ばれ  
ました。それは「北」という文字でした。北朝鮮のことをみんなが不安な思いで見ていましたからという理由だそうです。  
確かに、核実験をしたりミサイルを飛ばしたりして世界中を驚かせましたし、特に日本の上をミサイルが飛ん  
だり、近くの海に落ちたりしました。

お せんそう にほん こうげき ひとびと  
こんなことが起こると、いつ戦争になって日本が攻撃されるかわからないという人々がいます。そして、そうな  
った時のことを見て準備をしっかりしておくことが一番大事なことだという人も出でてきます。国の大切な税金を  
そのために使うのは当たり前だとも言います。アメリカからとても性能の良い、強い武器を買って準備することが  
わたしたちの「不安」をなくすことだと思います。でも、それは考えられないほど高いお金を払わなければ買えま  
せん。困ったことです。なぜなら誰でも何か大きな買い物をしたい時は他のものを我慢して節約して欲しいもの  
を買うでしょう。国が高い武器を買いたい時は、国がしなければならない他の働きのために使うお金を節約して  
買ってきました。今は何を節約しますか。

みな ぞん くに けんぽう ほうりつ うご とく けんぽう くに すがた あらわ たいせつ  
皆さんもよくご存じのように、国は憲法と法律によって動かされています。特に憲法は国の姿を現す大切なも  
ので、政治家でもこれを自分の好きなように勝手に変えることはできません。みんなが、こんな憲法は私たちの  
ためにならないから変えるようにしようという思いでまとまれば別です。その時はよく相談をして変えることもできま  
す。今、憲法で私たち国民が困っていると思っていることはあるでしょうか。特別に困ったことはないはずです。  
それよりも、前の戦争から70年以上も戦争をせず平和を守り続けられたのは、国の姿を示す憲法があったから  
らることができます。憲法をどうしても変えたい、他の国に負けない武器を買いたいという人たちには、「この  
憲法は前の戦争で日本に勝った国、特にアメリカに押し付けられたもので、日本人としての誇りがないから変  
えたい」と言い、本当の国を取り戻すために強くなりたいと言っています。でも、いろいろなことがあったとしてもこ  
の素晴らしい憲法は日本の国会で決めたものです。

せんそう むかし にほん けんぽう まちが してき あたら けんぽう き へいわ にほん つく  
戦争をした昔の日本の憲法が間違っていて、それを指摘され新しい憲法を決めて平和な日本を作ってきた  
ことは世界に誇ることのできる日本の文化です。誰が何と言おうと「良いものは良いのです」。私の不安は「良  
いものを良い」とはっきり言うことができなくなるような雰囲気ができつつあるということです。素晴らしい日本の  
平和な文化のもとである憲法を「素晴らしい良いもの」と言い続けましょう。聖書の言葉「平和を実現する人々  
は幸いである。その人々は神の子と呼ばれる」



## “わたし”と向き合う

かいじむちょう わだやすこ  
ちいしば会事務長 和田泰子

ちいしば会では人権について学ぶ時間を大切にしています。これまでにも水平社博物館へ行き部落史を知ることや、沖縄問題、ナチスドイツのT4計画と優性思想など様々な問題について話を聴き、考える機会が与えられてきました。

そして今年度の冬季法人研修では「優生思想と私たちの仕事パート2」と題して、グループディスカッションを行い職員それぞれが自分の考えを発表し、また他者の意見を聴いてさらに思慮を深めるという研修が実施されました。

ディスカッションのテーマは①出生前診断について②養護学校義務化(障害の有無による別学体制)について③臓器移植を前提とした脳死についての3つです。容易に答えを出せない難しいテーマではありますが、その概要を事前に調べ、テーマについての賛否や自分の考えをまとめて参加することになりました。

研修に参加して感じたことは、同じ組織に属していても教育を受けた年代や立場、育った環境の違いで様々な考え方があることを理解しなければならないということです。

何が正しくて何が間違いかを問うものではありませんが、人は無意識のうちに物事に優劣をつけてしまっている事実があり、その判断こそがあらゆる人がもつ自分自身に潜む優性思想なのです。それが“わたし”的価値観や偏りであることを認めると同時に、自身の状況や立場が変われば判断基準が揺らぐかもしれないということもしっかり理解しておかなければいけないと思いました。

私は、組織としてこのような人権学習に取り組むことは、千差万別な価値観をもつ者の集団だからこそ、法人理念の「ともに生きる社会を創造する」を実現するための「ちいしばイズム」を確認する作業だと捉えています。グループディスカッションで他者の意見を聴き、自分との価値観の違いを認識しました。他人の価値観は決して否定できるものではありませんが、それぞれの価値観が調和され組織になればきっと法人理念の実現もできると信じています。そして支援者としては福祉の専門知識や支援技術を学ぶことも大切ですが、利用者と向き合うとき“わたし”をしっかり理解する作業を怠ってはいけません。支援の中での判断基準が“わたし”的価値観や偏りである場面が多々あり、時には利用者の人生を大きく左右させることも有り得るからです。

今回の研修を通して自分自身に潜む優性思想に気付けたからこそ、これから先“わたし”の中にいる優性思想と向き合い続けなければならないのです。

## みつけた！合理的配慮

ちいしば園 生活支援員 胡内 まさみ

“農業” 進む連携 “福祉” 新聞に載っていた見出しである。

農業の担い手不足と障がい者雇用という、福祉の課題の双方の解決を図る「農業連携」の取り組みが広がりつつあるそうだ。

記事には農家で働く二人の障害のある若者が写っていた。静岡にある水耕栽培農家が、1997年から障がい者の積極的雇用をする「ユニバーサル農園」に取り組んでいるそうだ。

大阪でも昨秋、和泉市のトマト農家で知的障がい者の三人がインターンを体験。ミニトマトの余分な葉をちぎる作業をまかされた。農園を経営する男性は“できる作業はまずやってみないと分からない”と。そして“互いに無理せず、やって良かったと思える形を見つけたい”と、正式に働いてもらえるよう条件を調整中だそうだ。私は記事を読んで、トマト農家の方が“やってみないと分からない”と、インターン受け入れを決めたこと、そして“お互い無理をせず”という所に感銘を受けた。

障害のある方が一般就労をする。それには様々な合理的配慮が必要だと思う。だがそれは一方通行ではなく、お互いにとって、良い環境となる工夫が大切なのだと。

減っていく農業就業人口。障がい者が作業所等で手にする少ない工賃。この二つが的確な合理的配慮により、良い連携となるよう願うばかりだ。

さて、その為に私に出来ること… 先の「ユニバーサル農園」のホームページを覗いてみた。たとえ障害を持っていても、どんなに小さな力でも、働くひとりひとりに役割があること、努力の目標があることを大切にします。とある。日々の作業の中で、わかつちゃいるけど実践できていないな…。まず自分自身が真の合理的配慮が出来る支援者になるべく努力していかなければ…。

たいかいいんひろしま ほうこく  
ピープルファースト大会in広島の報告

ちいしば園 生活支援員 中井 純平

11月25~26日にピープルファースト大会in広島にちいしば園から6名の利用者の方と参加してきました！

全体会では、一昨年起こった津久井やまゆり園事件のその後の報告や、全国の当事者の方々が困っている事・そのために頑張っていることの発表などがありました。また会場からは、戦争反対！平和な日本を目指そう！といった発言や意見が多くありました。

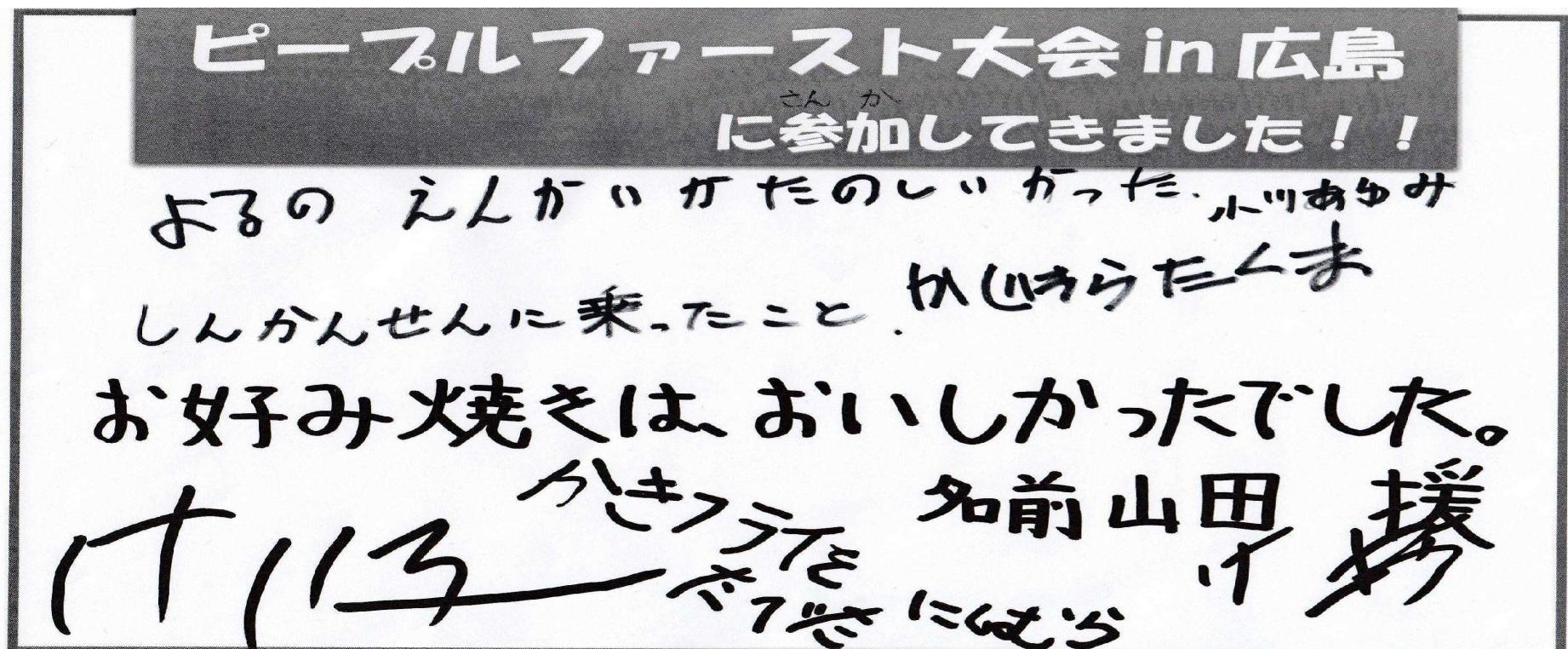
交流会は美味しい料理のほかに、生バンドの演奏に合わせてステージの上で踊ったり、全国の当事者の方々と名刺交換をしたりして存分に楽しみました。

2日の分科会では、みなさん積極的に手を挙げて意見を言って交流されていました。



そして！来年の開催地は「奈良県」に決まりました！

ちいしば園からもたくさんの方々に参加して頂いて、大会を盛り上げたいと思っています。皆さんのご参加お待ちしています！！



# かいしょくいん ちいしば会職員リレー エッセー



りそう しょくいんぞう  
理想の職員像とは

えん せいかつしえんいん のなか りな  
ちいしば園 生活支援員 野中 梨奈

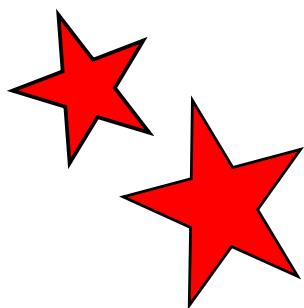
わたし こんねんど がつ えん にゅうしょく  
私は今年度4月にちいしば園に入職させていただきました。初めて職員としてちいしば園に来た  
あの日からもうすぐ1年が経とうとしていると思うと、月日の流れの早さを感じます。  
さて、“理想の職員像とは”ということですが、私の理想とする職員像は『諦めない人』です。日々  
を過ごしていく中で、誰しも「うまいこといかへん・・・」「どうしたらいいんや・・・」と思う瞬間は  
かならず必ずと言っていいほどあると思います。皆さんに苦悩を語れるほどの経験はまだまだない未熟者の私  
ですが、そんな私でも、今までの人生の中で“壁”にぶつかることが何度もありました。これからち  
いしば園での時間の中にも、きっと何度も“壁”に出くわすことだろうと思います。

えん にゅうしょく ねんじやく みじか きかん  
ちいしば園に入職して1年弱、こんな短い期間にも、「どうしたらうまくいくかな」「何がベスト  
なんやろう」と考える瞬間が多くありました。そんな時、諦めて放棄してしまうことは簡単ですが、  
そこからは何も生まれないし、むしろ、放棄したことにより、良くない何かが生まれ出ることだってあ  
るかもしれません。考え、頭を悩ませることで、辛くなったり不安になったりすることがあったとし  
ても、“諦めない気持ち”はきっと次に繋がると私は思っています。

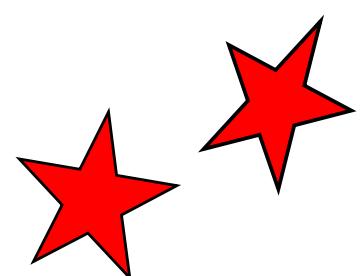
とき あきら ひつよう おも わたし い あきら ゆず あ こころ  
しかし、時に諦めは必要になることもあるかと思います。私が言うその諦めとは“譲り合いの心”  
です。ただ諦めないだけの頑固な人間にはならないよう、注意していきたいと思っています。

りょうしゃ みな かぞく みな せんぱいしょくいん せわ りそう  
これからも、利用者の皆さんやご家族の皆さん、先輩職員にお世話になりながらではあります、理想  
の職員像を思いながら、日々精進していきたいです。

つぎ えん かさい わた おも  
次は、ちいしば園の笠井さんにバトンを渡したいと思います。  
ひ つづ りそう しょくいんぞう  
テーマは引き続き「理想の職員像とは？」です。  
ねが  
よろしくお願ひします。



# しゃしんとも 写真で友だち紹介



このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮ってもらい紹介してもらいます。紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。お友だちを紹介してくれた人には3つの質問をお願いします。

« 1、どうしてその人を選びましたか？ 2、どういう所が気になりますか？ 3、その人の好きなことは？ »

まつむら としやす  
松村 敏康さんより・・・

ひらやま えり しゃかい  
平山 恵理さんを紹介します！



Q1 どうしてその人を選びましたか?  
→いっしょにお仕事をすることが多いから

Q2 どういう所が気になりますか?  
→写真のポーズが気になる

Q3 その人の好きなことは?  
→映画情報、アニメのこと、  
合同終礼の時ちいしばジャンケンすること

なかもり みき  
中森 未来さんより・・・

まつもと けいこ しゃかい  
松本 敬子さんを紹介します！



Q1 どうしてその人を選びましたか?  
→いつも一緒にいるから

Q2 どういう所が気になりますか?  
→髪型はだれが決めているの？

Q3 その人の好きなことは?  
→ボール遊び



## ちいしば クリスマスコンサート 2017 が開催されました!!

「初めて参加した職員に感想を聞きました・・・」

- ・いつもの楽しくワイワイとしたちいしば園の雰囲気からはガラッと変わり、厳かな空気が漂う素敵なものコンサートでした。クリスマスに似合う甘い音色にとても癒されました。(野中)
- ・とても綺麗な音色に魅了されながら、楽しい時間を過ごす事が出来ました。
- また今回、生演奏を間近で聴く事が出来、とても貴重な体験になりました。(西村)
- ・にぎやかに過ごすクリスマスも楽しいと思いますが、みんなで静かにきれいな音楽を聴くひとときもまたクリスマスらしくて素敵でした。どこかの外国の教会の中にいるような気分になりました。(土橋)



### ブルーベリーのオーナー募集

2018年度のブルーベリーオーナーを募集しています。無農薬で栽培しているブルーベリーの木を自分で選び収穫し、思う存分『自然』と『ブルーベリー』を味わいたい方、ぜひご連絡下さい。募集口数は10口(10組)とさせていただきます。詳細については下記お問い合わせまでご連絡下さい。

#### オーナー様がすること

- ① 5月頃、ちいしば園に来てブルーベリーの株(木)を選ぶ。
- ② 7月中旬～8月中旬頃、ブルーベリーの収穫。

★場所：ちいしば園 ★1口(1株)：3800円 ★申し込み期間：3月20日(火)まで

○お申し込みは電話にて、【お名前、ご住所、ご連絡先】をお知らせください。

(平日 8:30～17:30)

※10組以上の応募があった場合は抽選のうえ決定させて頂きます。

●お問い合わせ先：電話／0745-72-1923

担当／園芸部門

☆後援会費・ちいしばだより年間購読料(2017年10月1日~2017年11月30日)

篠原範子(10.11)、宮崎信子、阪口寿久、井上基子、梶川慶子、中島佳代子、富田久江、吉川和美、本田佳子、吉川英一郎、ひまわりの家、松本健一、山田歩、鈴木莉子、井上眞理子、太田章一、福井笑子、片山雄太、足立拓矢・るり、後藤弥生、木村俊彦、木村芳子、松村園美、井上恵理子、奈良人権部落解放研究所、河野まり子、NPO法人ライフケア王寺、由良禮子、内山繁雄、清水靖子、対尾一成、岩崎和代、清水秀高、田中茂子、川端邦芳、谷口利広、馬場香津子、稻留優樹、文新善、兼平淑子、社会福祉法人メイクルタウン、山中邦夫、岡山定男、森谷宏三、村本建設株式会社奈良本店、福音幼稚園、東千晶、藤原智久、片桐滋・文子、藤井和子、西村好夫、本岡真、西村恭子、中川朋子、本間結子、山田哲士、藤井博次

以上 敬称は略させていただきます

一〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

## しんしょうひん ちいしば新商品のお知らせ



ロバサフレ ココアミックスクッキー うずまきクッキー

180円

300円

150円

喫茶ドンキーで販売中☆

みなさまらいでんま皆様のご来店お待ちしております♪♪

## KSKS ちいしばだより

編集人／ちいしば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-31-5760

発行人／関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F